

ICAS創立3周年を迎えました



平成 18 年(2006 年)5 月 1 日に設立された
茨城大学 地球変動適応科学研究機関 (ICAS) が
創立 3 周年を迎えました。

現在茨城大学教員 65 名、ICAS 専任 9 名の
計 74 名で研究業務を進めています。
皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

活動予定① 「サステナビリティ学入門」開講中!

全学共通の集中講義「サステナビリティ学入門」が開講されて
います。1 日目 (6 月 13 日 (土)) 2 日目 (6 月 20 日 (土))
が熱気あふれる中を終了しました。3 日目は以下のとおりです。

- 7 月 4 日 (土) 8:50-17:50 人文学部講義棟 10 番教室
担当教員: 成澤才彦先生 (農学部)、新田洋司先生 (農学部)
小峯秀雄先生 (工学部)、木村競先生 (教育学部)

活動予定② ICAS総括サステナフォーラム



ICASはJST 育成期間の最終年度を迎えています。そこでこ
れまでの活動を報告し、ICAS各部門の成果を総括するための
サステナフォーラムを開催します。

日時: 9 月 8 日 (火) 13:30~17:00
場所: 茨城大学水戸キャンパス
環境リサーチラボラトリー棟遠隔講義室
◇ プログラム ◇

- I. 開会挨拶
- II. ICAS 機関長挨拶
- III. セッション
第一部門、第二部門、第三部門、教育部門の成果報告
- V. 総合討論
- VI. 閉会挨拶

お問い合わせ ICAS 郡司真弓
029-228-8787 arcione@mx.ibaraki.ac.jp

ICAS/IR3S Calendar

4 月	新年度スタート 4/20~ ICAS 研究発表会・開始 毎週月曜日 15:00~ (水戸 ICAS 本部) 4/24 茨城大学バイオ燃料社会プロジェクト・ワーク ショップ(水戸三の丸庁舎)	9 月	9/8 ICAS総括サステナフォーラム 9/11-13 国内演習 (大洗・酒沼)	
	5 月	5/1,25 ICAS 研究セミナー (水戸 ICAS 本部) 5/19-21 IR3S/チンダルセンター 国際シンポジウム (英・イーストアングリア大学) 5/25 IR3S/豪大使館 日豪国際高等教育シンポジウ ム (オーストラリア大使館) 5/30 茨城大学地域貢献シンポジウム (水戸常陽藝文 センター)	10 月	10/17 茨城産業会議・茨城大学共催シンポジウム(水戸) 10/20-21 第 1 部門国際ワークショップ(茨城大学水戸キャン パス)
6 月		6/8,15,22,29 ICAS 研究セミナー(水戸 ICAS 本部) 6/10-12 IR3S/国際連合大学 教育シンポジウム (国連大学) 6/13 第 1 回集中講義「サステナビリティ学入門」(水 戸キャンパス) 6/20 第 2 回集中講義「サステナビリティ学入門」(水 戸キャンパス)	11 月	AIT 国際シンポジウム(アジア工科大学・タイ) 11/22-23 ICSS-Asia (アジア工科大学・タイ)
		7 月	7/1 ICSS-Asia 国際運営委員会第一回会合 (タイ・ア ジア工科大学) 7/4 第 3 回集中講義「サステナビリティ学入門」(水 戸キャンパス)	12 月
8 月	ICAS 年報 2009 発行 8/22-30 国際演習 (タイ)		1 月	1/9 IR3S 共通科目「サステナビリティ学最前線」 1/23 IR3S 共通科目「サステナビリティ学最前線」
			2 月	IR3Sシンポジウム
		3 月	第 3 回 ICAS 学生サステナ・フォーラム	

*網掛けは ICAS が主催する企画です

ICAS の予定に関するお問い合わせは ICAS 本部まで

icas@mx.ibaraki.ac.jp

活動報告

◇ バイオ燃料社会プロジェクト・ワークショップ ◇

茨城県三の丸庁舎内の茨城大学インフォメーションセンターにおいて、4月24日(金)13:00から17:00まで「バイオ燃料社会プロジェクト・ワークショップ」が開催されました。

一般市民の参加者に加えて、茨城県・日立市・阿見町などの自治体の方々や、茨城大学の教職員・学生など、約100名が参加しました。

テーマ：首都圏近郊におけるバイオ燃料社会の構築と地域農業イノベーションを目指して

- 「茨城大学バイオ燃料社会プロジェクト(IBOS)の展開」 -

◇ プログラム ◇

- I. 開会挨拶 新田洋司(茨城大学農学部)
- II. 茨城大学理事・副学長挨拶 松田智明
- III. 茨城大学農学部長挨拶 中島紀一
- IV. セッション

新田洋司 茨城大学におけるバイオ燃料研究の取り組み
関義明 茨城県におけるバイオ燃料生産・利用への期待
吉浦貴紀 スイートソルガムを使ったバイオ燃料生産の可能性
金野満 わが国におけるバイオ燃料の利用とエンジン技術
鈴木一兄、大塚寧 日立市におけるBDF(廃食用油燃料)利用の取組み
小松澤智 阿見町の耕作放棄地の現状と対策について
角丸肇 IBOSプロジェクトに対する茨城大学共同開発センターの役割と期待

V. 総合討論

VI. 閉会挨拶 太田寛行(茨城大学農学部)

バイオ燃料社会プロジェクトのホームページには写真も掲載されています。<http://www.ibos.ibaraki.ac.jp/>

活動報告

◆ 「サステナビリティ学入門」開講中！ ◆

全学共通の集中講義「サステナビリティ学入門」の第一日目と第二日目が終了いたしました。今年も茨城大学の日立・阿見・水戸各キャンパスの学生のみならず教員さらには学外の皆様も遠くは仙台からご参加いただき活気あふれる熱い集中講義が行われました。第三日目は7月4日土曜日に関講されます。



- 1日目(6月13日(土)) 共通教育棟2号館1階10番教室
第一講 三村信男先生(ICAS 機関長)
第二講 横木裕宗先生(広水圏)
第三講 村上哲先生(工学部)
第四講 田村誠先生(ICAS)
全教員を交えてのパネルディスカッション
- 2日目(6月20日(土)) 共通教育棟2号館1階10番教室
第五講 原口弥生先生(人文学部)
第六講 伊藤哲司先生(人文学部)
第七講 上地勝先生(教育学部)
第八講 郡司晴元先生(教育学部)
全教員を交えてのパネルディスカッション



メンバー紹介

齋藤 修
(さいとうおさむ)

ICAS
科学技術振興研究員
やぎ座 A型

今年5月からICASのメンバーとしてお世話になります。茨城大学工学部情報工学科ならびに筑波大学大学院の非常勤講師です。

もともと情報工学が専門で、並列コンピュータシステムやユビキタスコンピューティングの研究を行っていました。茨城大学で今年3月に博士課程を修了して、土木技術と情報技術ICT(Information and Communication Technology)の融合による、社会環境情報可視化システムの研究を行っています。地震動やCO₂レベルの可視化が情報技術であるセンサICタグを利用して手軽に出来るシステムがこれからの気候変動の影響予測に役に立っていくと思います。

ICASのみなさんや、ICASを通して色々な方とお知り合いになれることが楽しみです。茨城大学工学部体育会空手道部の指導もっており、茨城大学とは少なからず因縁があるようです。家ではナマズ・ドジョウ・ウナギ・メダカにヌマエビを飼っています。川魚の電磁波変化による逃避行動で地震動予測が出来ないかなと、ふと思うこのごろです。

ICAS on MEDIA

== 温暖化による想定被害額を各新聞が掲載 ==

ICAS 機関長の三村信男教授が中心になって進めている共同研究「温暖化影響総合予測プロジェクトチーム(S-4)」がテレビ・新聞各社より取材を受けました。その内容が5月29日付の読売・毎日・朝日・茨城等各新聞に掲載されました。サイエンスポータルで総説を読むことができます。
<http://scienceportal.jp/news/review/0906/0906011.html>

==== 茨城新聞好評連載中！ ====

現在連載第98回目を迎えています。「霞ヶ浦」シリーズの5回目までを掲載しました。まもなく連載の最終シリーズが始まります。連載終了後は書籍化される予定となっています。

==== 『サステナ』第12号発刊 ====

IR3S 機関誌『サステナ』次回の第12号は茨城大学が編集責任を担当します。7月20日発行の予定です

Editor's Note



ICAS 本部前の桜の木にさくらんぼの実がなりました。雨の季節です。水戸の保和苑の紫陽花が見事に咲いています。記事についてのお問い合わせやご要望などお待ちしております。 MG